

大田市立病院新改革プランの点検・評価報告書  
(平成29年度 実施状況)

平成30年10月

大田市立病院運営評価委員会

## 目 次

1. 大田市立病院新改革プラン点検・評価報告	…1
2. 大田市立病院新改革プラン個別評価事項	…2
3. 大田市立病院運営における平成29年度の取組状況及び結果	…3
4. 大田市立病院新改革プランに基づく数値計画、目標の達成状況	…10
5. 大田市立病院新改革プラン運営評価委員会委員名簿	…13
(参考)大田市立病院概要	…13

# 1. 大田市立病院新改革プラン点検・評価報告

良質な医療の提供と健全な経営の確立のためには、院内組織による検討だけでなく、外部組織による客観的な評価・提言が必要である。

よって、大田市立病院新改革プランでは、プランの実施状況の点検・評価について、外部有識者からなる運営評価委員会を設置し、平成30年度から4か年にかけて毎年行うこととしている。

今回、プランの平成29年度進捗状況に対する点検・評価を行ったことからその結果を報告する。

団体名	大田市
プランの名称	大田市立病院新改革プラン
策定日	平成29年3月29日
計画期間	平成29年度～平成32年度

## (1) 点検・評価方法

大田市立病院運営評価委員会による点検・評価

- ・委員…外部有識者9人
- ・委員会開催日…平成30年7月25日
- ・方法…委員9人による項目別点検・評価を実施

### 【項目】

- 1) 収入確保対策、2) 経費削減・抑制対策、3) 経営安定化対策、4) その他の対策

### 【評価区分】

- A…目標が達成されている
- B…取り組みはしているが、現状未達成である
- C…目標が未達成である

## (2) 点検・評価結果

(単位:人)

項目	評価区分		
	A	B	C
1) 収入確保対策	6	3	0
2) 経費削減・抑制対策	8	1	0
3) 経営安定化対策	8	1	0
4) その他の対策	7	2	0

※表中の数字は評価した委員の人数

## 2. 大田市立病院新改革プラン個別評価事項

項目	評価・改善事項
1 収入確保 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医師数の増加などにより、外来患者数や入院単価が前年度と比べて増加していることを評価する。</li> <li>●研修医を含め平成29年度末常勤医師数が29人となり4人増員となったことは、医療従事者確保対策の表れであり、市民にもより医療に対して安心を与えており評価する。さらに、整形外科医師の確保に尽力されることを期待する。</li> <li>●順調な経過と思う。目標値を達成されている。</li> <li>●医師確保に努められ、病院としての質を高める取り組みがなされている。引き続き、未収金対策を含め、更なる収入確保にしっかりと努めて欲しい。</li> <li>●医師と患者の信頼ができなくてはならないので、患者側に沿った診療をすることも大切でそうした教育が必要である。</li> <li>●回復期医療の充実を評価する。</li> <li>●入院患者や家族の気持ちに沿った病床管理をお願いしたい。</li> <li>●人間ドック等健診事業件数増など健診事業の充実を望む。</li> <li>●接遇研修を実施し、接遇の充実に努めて欲しい。</li> <li>●満足度の向上に努めるため患者満足度調査の結果を分析し、患者の信頼に応えてほしい。</li> <li>●未収金縮減対策として職員1名配置するなど未収金回収に積極的に取り組んでいる。</li> <li>●経常収支比率、医業収支比率において目標を超えたことを評価する。</li> <li>●資金期末残高が目標設定で8百万円とし、期中において資金ショートが起きるのではと危惧していたが、大幅な資金残高が確保されたことを高く評価したい。</li> <li>●救急患者数、手術件数で27、28年度実績を下回っている現状を抑えておく必要がある。</li> <li>●画像診断装置稼働件数、臨床検査件数等みるべき努力もあり、今後に期待する。</li> </ul>
2 経費削減・ 抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●給与費、材料費、経費についてそれぞれ医業収益比率の低減努力がされており、評価する。更なる低減をお願いしたい。</li> <li>●看護師における変則3交代制勤務の本格運用等による時間外勤務縮減及び薬剤、診療材料の適正化に努められている。</li> <li>●看護師など関係者の労働強化にならない様に要望したい。</li> <li>●目標値を達成されている。</li> <li>●医療事務委託業務に関して、収入確保部分で重要な部署であり優秀な人材確保と窓口業務サービスの向上をお願いしたい。</li> <li>●ベンチマークシステムによる材料費の減少対策を行うことにより、材料費の適正化が図られている。</li> <li>●DPC分析システムによるDPCの適正運用、管理がなされている。</li> <li>●変則3交代制勤務の本格運用による看護師の時間外勤務削減やベンチマークシステムの導入による薬品・診療材料の適正化による経費節減が図られており、効果は大きいと考える。</li> <li>●医療機器は機器稼働率等を検証して適切な整備をお願いしたい。</li> <li>●新病院建設についてはECI方式によりコストダウンが図られている。</li> <li>●新病院建設にあたってコスト削減は当然だが、市民の期待に沿う病院として努力をして欲しい。そのために職員が一丸となって収入確保することが重要である。</li> <li>●新病院建設のチェック機能について、資格を有する職員の配置を求めてきたが業者任せで良いのか危惧している。</li> </ul>
3 経営 安定化 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医師や看護師等医療従事者の確保が最重要課題であると考え。島根大学医学部との連携にさらなる努力を期待する。</li> <li>●医学生奨学金の貸付を開始し、医療従事者の確保、育成に努めた。</li> <li>●大田市出身の医学生や研修医とのつながり等の強化を意識的に進められていることを評価する。</li> <li>●目標を上回る医師確保の状況であるが、新病院開設に向け整形外科医師の採用に努力していただきたい。</li> <li>●県は国立病院を市に移管するに当たって医師の確保について最大限の努力をしようとしていた。今回の病院建設に当たって高度医療患者が出雲部に片寄り、事案が少ないことを主要な視点とし、自らの責任を放棄し、市に責任転嫁するこうした中で市立病院の努力を評価したい。</li> <li>●目標値を達成されていると判断。</li> <li>●医師クラーク、病棟看護師長クラークの配置など、勤務環境の改善がみられる。</li> <li>●医師不足に対して医療従事者の確保や臨床研修病院としての体制整備等に努力をされており、今後も継続実施して欲しい。</li> <li>●職員すべてが市民から信頼される病院と意識し努力することが経営の安定に繋がることを忘れないでほしい。</li> <li>●経営健全化検討委員会において経営の分析及び評価を行い、課題を同委員会で議論することを期待する。</li> <li>●職員の経営意識に関する研修会を実施して欲しい。</li> </ul>
4 その他の 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概ね達成されている。</li> <li>●災害拠点病院として、より機能強化や隊員増員をお願いしたい。</li> <li>●DMAT(災害派遣医療チーム)隊員を増員し、災害拠点病院としての機能強化を図られている。</li> <li>●7月9日から10日までの東広島市への医師等4名の災害派遣で世話になった。</li> <li>●地域包括システムへの積極的な関与や出前講座、ふれあい講座などの実施により、医療や健康に関する啓蒙活動が行われており、市民の健康づくりに貢献している。</li> <li>●出前講座や講演会の開催について関係者の努力に感謝したい。ただし、時間的な制約もあるが、依頼者の希望に沿うよう柔軟に対処して欲しい。</li> <li>●病院まつりなど各種イベントの活動について評価したい。</li> <li>●ボランティアグループ「カーネーション」との連携をお願いしたい。</li> <li>●無医地区への積極的に関わってもらいたい。特に、研修医の現場医療の重要な取り組みとして一考して欲しい。</li> </ul>

### 3. 大田市立病院運営における平成29年度の取組状況及び結果

1) 収入確保対策		
実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
①診療機能の維持、充実	1 常勤医師確保による診療機能強化	<b>【◆取組結果】</b> ○常勤医師数4人増。 ⇒外科2人増(平成28年度末:2人→平成29年度末:4人) ⇒後期臨床研修医2人増(平成28年度末:0人→平成29年度末:2人)、 初期臨床研修医1人増(平成28年度末:0人→平成29年度末:1人) ・平成29年度末常勤医師数:29人(対前年度末比:+4人)  ※医師確保対策の取り組みについては「3)-①医療従事者の確保」に記載。
	2 看護師確保による7対1看護体制の堅持	<b>【◇取組状況】</b> ○看護師修学資金の貸付を継続。 ・平成29年度修学資金貸与者:10人、貸付額:555万円 ○5月31日から6月1日まで県内看護師養成学校7校を訪問。 ・松江高等看護学院、松江総合医療専門学校、島根県立大学、 出雲医療看護専門学校、浜田医療センター附属看護学校、 出雲高等看護学院、石見高等看護学院 <b>【◆取組結果】</b> ○常勤看護師の採用。(助産師1人、看護師5人) ・平成29年度末常勤助産師数:16人(対前年度末比:増減なし) ・平成29年度末常勤看護師数:158人(対前年度末比:△1人)
	3 回復期医療の充実	<b>【◇取組状況】</b> ○他圏域で骨折手術等を受けられた患者の積極的な転院受入。 <b>【◆取組結果】</b> ○平成29年度転院受入件数:210件(平成28年度:147件) ○平成29年度回復期リハビリテーション病棟平均入院患者数:40.1人
	4 急性期医療と回復期医療に特化した病棟再編による診療単価の増加	<b>【◇取組状況】</b> ○病床コントロールチーム会、日々のラウンドによる適切な病床管理。 <b>【◆取組結果】</b> ○入院診療単価が全体で1,506円増加。 (平成29年度38,666円、平成28年度37,160円)
	5 外来化学療法の拡充	<b>【◇取組状況】</b> ○入院化学療法から外来化学療法への転換。 ○がん化学療法認定看護師の外来配置。 <b>【◆取組結果】</b> ○外来化学療法加算算定件数(平成29年度:218件、対前年度比:+2件)
	6 専門外来の実施	<b>【◆取組結果】</b> ○リウマチ外来(毎週月・木)、腎臓内科(毎週火)、 血液・腫瘍内科(毎週水・木※平成28年3月までは週1回) ペースメーカー外来(第2金)、小児神経外来(第1木)、 小児心臓外来(毎週火)、乳児健診(毎週火)、小児予防接種(毎週金)、 女性泌尿器科外来(第1・3・5木)、緩和ケア(第3木)
	7 病診連携、病病連携の推進	<b>【◆取組結果】</b> ○他院からの紹介率:33.3%(対前年度比:△5.5%) ○他院からの各種検査の外部依頼を受託。 ・CT、MRI:1,824件(対前年度比:△34件) ・骨密度:154件(対前年度比:+49件) ・遠隔画像診断2,009件(対前年度比:+243件)

実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
①診療機能の維持、充実	8 開放病床の利用促進	<b>【◇取組状況】</b> ○医師会へ開放病床(5床)の利用促進の依頼。 <b>【◆取組結果】</b> ・利用者数:15人(対前年度比:△4人)、 ・利用日数:280日(対前年度比:△75日) ・利用率13.4%(対前年度比:△6.1%)
	9 訪問看護、訪問及び通所リハビリテーションの提供	<b>【◇取組状況】</b> ○訪問看護サミット等の研修参加により、訪問看護の最新情報入手。 ○訪問リハビリスタッフの増(作業療法士1人) ・理学療法士数1人(平成28年度末1人) ・作業療法士数2人(平成28年度末1人) <b>【◆取組結果】</b> ○平成29年度患者数(対前年度増減) ・訪問看護:3,563人(+136人) ・訪問リハ:1,504人(+40人) ・通所リハ:483人(△9人)
②医療の質の向上、患者サービスの向上	10 まめネットの積極的活用	<b>【◇取組状況】</b> ○参加・閲覧同意の普及活動。(ポスター掲示、幟の設置、普及員派遣、病院まつりでの普及活動など) <b>【◆取組結果】</b> ○新規参加同意及び閲覧同意件数:640件(対前年度比:△259件) ○本院が連携カルテを閲覧した件数:77件(対前年度比:△35件) ○他院が本院の診療情報を閲覧した件数:774件(対前年度比:+289件)
	11 入院患者の病態に応じた適切で柔軟な病床管理	<b>【◇取組状況】</b> ○病床コントロールチーム会(毎週金曜日)、日々のラウンドによる適切な病床管理。
	12 退院支援の取り組み	<b>【◇取組状況】</b> ○地域医療連携室が中心となり、入院早期から患者・家族と面談し、意向確認しながら院内多職種及び院外関係機関と連携を図り、退院支援。 ○退院後訪問指導の開始(平成29年10月)。 ・医療ニーズが高い患者が安心・安全に在宅医療に移行し、在宅療養を継続できるよう、退院後1か月以内に自宅へ訪問し指導。また、訪問看護ステーションと同行し、指導・連携。 ・平成29年度指導件数:5件(うち訪問看護ステーション同行2件) <b>【◆取組結果】</b> ○退院支援加算Ⅰの算定件数の増加。 ・算定件数:894件(対象入院患者の約1/3程度)
	13 認定看護師の育成・配置による高い看護ケアの提供	<b>【◇取組状況】</b> ○感染対策室に専従で感染管理認定看護師の配置。(平成28年4月1日感染防止対策加算Ⅰ取得) ○糖尿病看護認定看護師(平成27年6月)、皮膚排泄ケア認定看護師(平成27年4月)、がん化学療法認定看護師(平成29年7月)を外来に配置。病棟、在宅での看護ケア実施。

実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
②医療の質の向上、患者サービスの向上	14 健診事業の継続、充実	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人間ドックを毎週火曜日定員5人で実施。</li> <li>○検診検査の継続実施。</li> <li>○乳がん、子宮がん検診の継続実施。</li> </ul> <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人間ドックの新規オプション項目の追加。 (7項目追加:平成30年4月1日より開始)</li> <li>○人間ドック <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度実施件数:171件(対前年度比:△4件)</li> <li>・平成29年度受託先団体:6団体(対前年度比:増減なし)</li> </ul> </li> <li>○健診検査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度実施件数:29件(対前年度比:△13件)</li> </ul> </li> <li>○乳がん、子宮がん検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん検診:144件(対前年度比:△66件)</li> <li>・子宮がん検診:717件(対前年度比:△205件)</li> </ul> </li> </ul>
	15 新病院の建設	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ECI方式による実施設計の策定及び建築工事請負契約の締結。 ・平成30年1月から建築工事に着手。</li> <li>○新病院開院後の運用方法等を決定するため、院内各部門代表による検討委員会を設置し、協議・検討。</li> <li>○新病院開院に向けた医療機器整備を計画的に行うため、院内各部署への調査や聞き取りを行い具体的な検討の開始。</li> <li>○CT撮影装置(整備額94,932千円)を更新。</li> </ul>
	16 全職員の接遇教育を継続的に実施	<p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年1月24日実施予定だったが、天候不良によるフライト欠航のため講師来院不可により中止。</li> </ul>
	17 患者満足度アンケートの実施及び検討	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○満足度調査を平成27年度から継続実施。 ・実施期間:平成29年9月11日～15日 ・回収数:外来479人、入院110人</li> <li>○訪問看護満足度調査を平成25年度から継続実施。 ・実施期間:平成30年2月13日～28日 ・回収数:56人</li> </ul> <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調査報告書(別添資料)を作成し、院内外に周知。</li> </ul>
③診療報酬の確保	18 診療報酬改定への迅速な対応	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経営健全化検討委員会において、施設基準新規取得に向けての検討。</li> </ul> <p>【主な施設基準の取得状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器リハビリテーション料Ⅰ:平成29年4月1日</li> <li>・医師事務作業補助体制加算1(20対1):平成29年5月1日</li> <li>・認知症ケア加算:平成29年10月1日</li> </ul>
	19 DPCの適正運用、管理	<p>【◇取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○DPC分析システムにより、3か月毎のDPCデータ分析を実施し、各診療科へのフィードバックすることで質の高い効率的な医療の提供。</li> <li>○機能評価係数 平成29年度:0.0731(平成28年度:0.0698)</li> </ul> <p>※DPC制度(診断群分類包括評価制度)とは・・・病気に対して効率よく無駄のない透明性のある医療を行うことを評価するもので、基本的には、入院初期に医療資源を集中的に投入し、早く病気を治すことにある。結果的に入院期間(在院日数)は短くなり、患者さんの経済的な負担や身体的ストレスが軽減される。また、患者さんを効率よく最短距離で治療・回復をした場合に、病院の入院収益が最も大きくなるような仕組みになっている。</p>

実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
③診療報酬の確保	20	レセプト請求精度の向上 【◇取組状況】 ○院内での点検・精査の強化についての継続実施。 ○査定状況を医師、担当部署に情報提供。 ○診療会議において査定分析状況の周知。 【◆取組結果】 ○平成29年度査定率:0.30%(対前年度比:△0.09%)
	21	未収金の縮減 【◇取組状況】 ○顧問弁護士に相談し、納付勧奨文書を送付し、督促の強化。 ・平成29年9月26日送付:10人 ○嘱託職員を1人配置。 【◆取組結果】 ○平成29年度末診療報酬個人未収金残高:39,333千円 (対前年度末:△3,095千円)
	22	電子カルテシステムを活用した適正な収益確保及び請求漏れ防止対策の強化 【◇取組状況】 ○電子カルテ内のポータルサイトに、患者数動向などの情報を掲示することにより情報共有化。 【◆取組結果】 ○新電子カルテの更新により、包括入院料に関して、算定時に包括項目と出来高項目が明確に表示されるため、精度の高い算定が可能。また、機能がより充実したことにより算定の可否についてより正確に把握でき、診療報酬請求の精度が向上。

## 2)経費削減・抑制対策

実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
①人件費の適正化	23	新病院開院時期を見据えた病棟再編に伴う人員配置の適正化 【◇取組状況】 ○病棟再編に伴う患者数に対応した適正な職員の配置転換等の実施。
	24	時間外勤務の縮減 【◆取組結果】 ○看護師における変則3交代制勤務の本格運用等による時間外勤務の削減。
②委託費の適正化	25	業務委託内容の点検、見直しによる委託費の適正化 【◇取組状況】 ○医療事務委託業務について、総合評価方式により業者選定。 ・期間:平成30年7月1日から平成35年3月31日まで
③その他費用の適正化	26	薬剤、診療材料の適正化 【◇取組状況】 ○※ベンチマークシステム等による材料費の価格交渉。 ・医薬品:△1,083,038円、診療材料:△1,491,484円 ○診療材料を同等機能以上で安価な製品への切替により診療材料費の削減。 ・削減額:△652,634円 ○後発医薬品への切替により、医薬品費の削減。 ・削減額:△7,445,413円  ※ベンチマークシステムとは・・・システムを導入している各病院から薬剤・診療材料の契約単価や購入実績データを集計し、平均単価、採用品の市場状況等が公表される。
	27	医療機器の適正な購入 【◇取組状況】 ○機器選定委員会による適正機器の選定。(価格、ランニングコスト、性能等の比較検討) ○新病院開院支援総合コンサルティング業務委託業者による市場価格の提示や同等品の提案により適正価格・適正機器の購入。

実行プラン			平成29年度 取組状況及び取込結果
③その他 費用の適 正化	28	新病院建設の建築単価 抑制	<b>【◇取組状況】</b> ○ECI方式による実施設計の策定及び建築工事請負契約の締結。 ・病院、設計事業者及び実施設計協力事業者の三者で協議を行い、機能・品質を確保し、且つコストダウン効果も得られる実施設計を策定し、建築工事請負契約を締結。
<b>3)経営安定化対策</b>			
実行プラン			平成29年度 取組状況及び取込結果
①医療従 事者の確 保	29	島根大学医学部、島根 県及び地域医療支援セ ンターとの連携	<b>【◇取組状況】</b> ○島根大学医学部各教室を定期的に訪問し、医師派遣の要望。 ○島根県が主催する医療審議会等の場で医師不足を含めた地域医療の実態を説明。 ・島根県地域医療支援会議(平成29年12月26日、平成30年3月12日) ○地域医療支援センターが主催する圏域の情報交換会等の場で、実態説明、情報交換。 ・平成29年9月4日 大田圏域市町村・医療機関情報交換会(邑南町)
	30	大田市出身学生や研修 医とのつながりを強化	<b>【◇取組状況】</b> ○大田市出身医学生、研修医、市長と市立病院との交流会を開催。 ・平成29年7月18日 大田市、市立病院との交流会(学生、研修医9人参加) ・平成30年2月16日 市立病院との交流会(学生、研修医13人参加) ○病院広報誌「銀の風」を送付。(2回)
	31	大田総合医育成セン ターの支援強化	<b>【◇取組状況】</b> ○総合医療学講座、育成センター会議の事務局として、会議の開催支援。 ○育成センター医師の研究支援。
	32	医療従事者の勤務環境 改善	<b>【◇取組状況】</b> ○事務補助員の継続配置。(医師クラーク16人、外来クラーク12人、病棟看護師長クラーク5人)
②医療従 事者の育 成	33	臨床研修病院としての 体制整備等	<b>【◇取組状況】</b> ○臨床研修専門部会で平成30年度から受け入れる研修医の指導計画を検討、作成。 <b>【◆取組結果】</b> ○基幹型臨床研修病院の再指定(平成27年度)を受け、平成29年度より初期臨床研修医1名を受入れ。 ○学生、研修医の見学旅費支給制度を県内外の学生12人が利用。 ○初期研修医の短期協力型研修の受入。 ・島根大学7人 ・青梅市立総合病院(東京都)4人 ○医学生奨学金の貸付を開始 ・平成29年度奨学金貸与者:2人 貸付額:240万円
	34	医療現場実習の積極的 な受入	<b>【◆取組結果】</b> ○医学生実習を積極的に受入れ(5,6年生24人)、実習中に当院医師との交流会を開催。 ○養成学校からの実習受入。 ・助産師1人、看護師31人、准看護師37人、理学療法士2人、作業療法士4人、言語聴覚士3人、臨床工学技士2人
	35	病院見学の受入	<b>【◆取組結果】</b> ○小学生の病院見学、中学生の職場体験、高校生の医療体験セミナー・インターンシップ等の受入。 ・小学生213人、中学生8人、高校生36人

実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
②医療従事者の育成	36	職員の経営参画意識の向上 【◇取組状況】 ○平成30年度診療報酬改定に関する説明会を、全職員を対象に実施。 ・平成30年2月(計4日間)、同年3月(計4日間) ○毎月開催している診療会議において、患者状況及び収益状況等を説明。
	37	病院情報・経営情報の収集、課題抽出、実践 【◇取組状況】 ○電子カルテの更新に伴い、電子カルテシステムトップページに病院情報、経営情報の速報値を掲載し、職員の情報共有。
	38	経営健全化検討委員会の開催及び取り組み 【◆取組結果】 ○15回開催。(7回のワーキンググループ検討会を含む)
	39	人事考課制度の適切な運用による人材育成 【◆取組結果】 ○医師の人事評価制度(平成27年度より実施)の継続実施によりインセンティブを支給。 ○事務部(全職員)の人事評価制度の運用開始。
<b>4)その他の対策</b>		
実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
①公益性、公共性の高い医療の確保	40	災害拠点病院としての機能維持 【◆取組結果】 ○DMAT(災害派遣医療チーム)隊員の増員。(医師1人、看護師1人) ○平成29年9月2日～3日 中国・四国ブロック災害派遣医療チーム技能維持研修に参加(5人)
	41	5疾病5事業への積極的関与 【◇取組状況】 ○緩和ケアチームによる患者へのアドバイス ・緩和ケアアドバイザーを通じて、がんの患者に対して治療ケアについてアドバイス。
	42	一般会計からの適正な繰入による公益性、公共性の確保 【◆取組結果】 ○繰入額算出方法の見直し。(平成29年度繰入金総額:832,187千円) ・算出方法の見直し:医師確保対策経費(処遇改善経費)のうち医師クラーク配置に係る経費を全額から2分の1に見直し
	43	地域包括ケアシステム構築への積極的関与 【◇取組状況】 ○地域包括ケアシステム構築に向け、院内では多職種で連携し、入退院支援。 ○地域の研修会にも積極的に参加し、顔の見える関係づくりに向け、地域の様々な関係機関(医療・介護・行政等)と連携。
②住民の健康づくり	44	糖尿病教室、栄養指導の実施 【◆取組結果】 ○糖尿病教室(奇数月第4水曜日)の開催。(計6回、参加者56人) ○栄養食事指導実施。 ・個人指導:2,674件、集団指導:11件、23名(マタニティスクール)
	45	講演会、出前講座の実施 【◆取組結果】 ○出前講座の実施。(実績詳細は別添資料) ・計19回、参加者739人 ○ふれあい講座の実施。 ・計6回、参加者30人
③広報活動の推進	46	広報活動の推進 【◆取組結果】 ○病院広報誌「銀の風」を4回発行。 ○ホームページ、フェイスブックによる適時な情報発信。

実行プラン		平成29年度 取組状況及び取込結果
④その他	47 各種イベントの開催	<b>【◆取組結果】</b> ○病院まつりの開催。(平成29年10月29日(日)開催、来場者数約800人) ・ステージイベント(院内バンド演奏、神楽等)、医療体験コーナー(リハビリ体験、血圧測定等)、院内体験隊、物販飲食コーナー、パネル展示等 ○看護の日イベントの開催。(平成29年5月12日(金)開催) ・院内保育所園児の歌の披露や作品展示、栄養・訪問看護の相談コーナー、アロマハンドマッサージ、新人看護職員研修の様子を展示等
	48 職員の健康管理	<b>【◆取組結果】</b> ○衛生委員会を月1開催し、職員の健康管理に係る所管事業を実施。 ・職員定期健康診断:年2回(平成29年5月、11月) ・ストレスチェック:平成29年9月 ・各種ワクチン接種:麻疹、風疹、B型肝炎、インフルエンザ ・健康管理研修会:年1回開催、テーマ「ストレスチェックについて」

## 4. 大田市立病院新改革プランに基づく数値計画、目標の達成状況

### I. 大田市立病院の果たすべき役割

#### ■ 医療機能・医療品質に係る目標

(1) 医療機能・医療品質に係る目標(新改革プランP.15)

項目	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
		(目標)①	(実績)②		
救急患者数(人)	5,430	7,000	5,844	△ 1,156	
手術件数(人)	617	670	616	△ 54	
分娩件数(件)	262	270	262	△ 8	
臨床検査件数(件)	598,261	613,690	772,572	158,882	
画像診断装置稼働件数(件)	22,723	24,500	23,641	△ 859	
薬剤管理指導件数(件)	3,358	3,195	3,189	△ 6	
栄養指導人数(人)	4,156	4,900	2,697	△ 2,203	
リハビリ件数(人)	40,338	47,300	41,579	△ 5,721	
訪問看護患者数(人)	3,427	4,158	3,563	△ 595	

(2) その他の目標(新改革プランP.15)

項目	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
		(目標)①	(実績)②		
研修医・医学生の研修受入件数(人)	36	40	36	△ 4	
看護師・セラピスト等の実習受入人数(人)	107	87	80	△ 7	
人間ドック件数(件)	175	200	171	△ 29	
健康診断件数(件)	226	180	231	51	
健康・医療相談件数(件)	1,921	1,700	2,045	345	

### II. 経営の効率化に向けての課題と方向性

#### ■ 今後の経営効率化に向けての課題と方向性

(1) 収支改善目標(新改革プランP.24)

項目	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
		(目標)①	(実績)②		
経常収支比率(%)	96.6	94.7	96.1	1.4	○経常収益÷経常費用×100
医業収支比率(%)	90.1	89.3	90.0	0.7	○医業収益÷医業費用×100
資金期末残高(百万円)	168	8	222	214	

## ■ 経営効率化に向けた具体的な取り組みと数値目標

### (1) 具体的な取り組みと数値目標

#### 1) 収入確保対策数値目標(新改革プランP.25)

項目	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
		(目標)①	(実績)②		
1日平均入院患者数(人)	185.5	182.0	183.2	1.2	○年延入院患者数÷入院診療日数
1日平均外来患者数(人)	417.7	428.0	433.9	5.9	○年延外来患者数÷外来診療日数
入院単価(円)	37,160	39,126	38,666	△ 460	○年延入院患者数÷入院収益
外来単価(円)	8,963	9,026	8,653	△ 373	○年延外来患者数÷外来収益
病床利用率(%)	57.5	53.7	56.9	3.2	○許可病床利用率
医業収益(百万円)	3,770	3,871	3,856	△ 15	
訪問看護収益(百万円)	34	40	33	△ 7	

#### 2) 経費削減・抑制対策数値目標(新改革プランP.26)

項目	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
		(目標)①	(実績)②		
給与費対医業収益比率(%)	71.7	71.1	71.5	0.4	○給与費÷医業収益×100
材料費対医業収益比率(%)	15.8	16.3	15.5	△ 0.8	○材料費÷医業収益×100
経費対医業収益比率(%)	17.4	17.9	17.3	△ 0.6	○経費÷医業収益×100

#### 3) 経営安定化対策数値目標(新改革プランP.27)

項目	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
		(目標)①	(実績)②		
常勤医師数(人)	25	26	29	3	
年度末職員数(人)	399	411	405	△ 6	

#### 4) その他の対策数値目標(新改革プランP.27)

項目	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
		(目標)①	(実績)②		
健康講座・予防教室等の開催(回)	25	30	31	1	

## ■ 収支計画

### (1) 収支計画(新改革プランP.29)

#### 1) 収支計画(収益的収支)

(単位:百万円)

区分	年度	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
			(目標)①	(実績)②		
収入	入院収益	2,530	2,599	2,591	△ 8	
	外来収益	907	942	921	△ 21	
	一般会計負担金	608	610	611	1	
	その他	196	164	184	20	
	計 (A)	4,241	4,315	4,307	△ 8	
支出	給与費	2,727	2,782	2,781	△ 1	
	材料費	601	639	605	△ 34	
	経費	661	701	674	△ 27	
	減価償却費 資産減耗費	223	247	252	5	
	支払利息	42	43	39	△ 4	
	その他	137	144	133	△ 11	
	計 (B)	4,391	4,556	4,484	△ 72	
差引 (A) - (B)	△ 150	△ 241	△ 177	64		

#### 2) 収支計画(資本的収支)

区分	年度	28年度 (実績)	29年度		比較 ②-①	備考
			(目標)①	(実績)②		
収入	企業債	528	1,045	356	△ 689	
	基金繰入金	44	44	44	0	
	一般会計負担金	222	202	221	19	
	その他	2	2	5	3	
	計 (A)	796	1,293	626	△ 667	
支出	建物整備費	147	773	177	△ 596	
	器械備品整備費	436	300	239	△ 61	
	企業債償還金等	325	331	332	1	
	長期貸付金	9	7	8	1	
	その他	1		0	0	
	計 (B)	918	1,411	756	△ 655	
差引 (A) - (B)	△ 122	△ 118	△ 130	△ 12		

## 5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿

(敬称略)

所 属	役 職	氏 名	備 考
大田市議会	民生委員長	石 田 洋 治	
大田市議会	議員	小 川 和 也	
大田市医師会	会長	福 田 一 雄	副委員長
島根県県央保健所	所長	長 崎 み ゆ き	
大田市社会福祉協議会	会長	西 村 俊 二	委員長
大田市自治会連合会	会長	森 山 護	
大田市立病院を守り育てる会	事務局長	渋 谷 次 夫	
大田市	総務部長	岡 田 稔	
大田市	健康福祉部長	大 谷 積	

### (参考) 大田市立病院概要

病院名	大田市立病院
経営状態	地方公営企業法全部適用
所在地	島根県大田市大田町吉永1428番地3
病床数	339床(一般280床、療養55床、感染4床)
診療科目	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科(計20科目)